

【 顧 問 挨 拶 】

経営各部教授 顧問 や てら あき ゆき
矢 寺 顕 行

OB 会の役員ならびに会員の皆様、現役部員の保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素よりご協力、ご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。

ラグビー部の学生の多くはスポーツ推薦入試を経て本学に入学します。ですので、学生生活の多くの時間を部活動に費やし、身体面、技術面さらには精神面の向上のために日々の練習に努力しております。体育会系クラブに所属しない他の学生と比べれば、勉強や私生活に当てる時間が少なくなるのも事実です。しかしながら、そうした状況においても部活動、勉強、私生活をうまくバランスさせて学生生活をより充実させることができることが体育会系クラブに所属する学生の凄さであり、そうあってほしいと願ってやみません。また、OBの皆様との交流をはじめ、体育会系クラブに所属しているからこそできる社会的な経験が、社会人としての基礎として身につけ、評価されることと考えています。

最後になりましたが、ラグビー部が今日の活動が続けることができているのは、OB 会の皆様、保護者の皆様のご支援おかげであり、感謝を申し上げます。ラグビー部の今後さらなる発展に向けて努力してまいりたいと思いますので、今後とも、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

【 『Go Beyond』 ～まだ見ぬ先へ超えていく～ 】

まつもと てつじ
監督 松本 哲治

OB 会員の皆様、保護者の皆様、平素は現役部員の活動へ格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2023 年度シーズンは『PUSH YOURSELF』のスローガンの下シーズンに臨んだのですが、秋のリーグ戦までにチーム力を上げることが出来ず、予選リーグでは 1 勝 4 敗の大不振となり下位グループでの入れ替え戦を覚悟した中、なんとか 6 チーム中 4 位となり中位グループ（5 位から 8 位決定戦）へ。その初戦では今シーズン最高の内容で会心の勝利。シーズン最終戦では敗戦となるも 12 チーム中 6 位という結果で 2022 年度シーズンから順位を 2 つ上げての終了となりました。しかし、内容的には非常に苦しいシーズンとなりました。

今シーズンは目標達成の鍵となり得る、学生リーダーを中心に主体性と責任を持たせてチーム改革に着手。どうすれば強くなるのか？ そのためには何を犠牲にし、どう取り組まなければならないのか。を考え、行動できる集団作りに取り組んでおります。

2024 年度チームスローガン『Go Beyond』を実践すべく、今の選手たちが A リーグというまだ見ぬ先へ超えていくため、コーチングスタッフと共に日々努力、成長し、チーム強化を推し進めて参ります。今後ともご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

【目の前のことを 100%で取り組む】

なかや たけし
ヘッドコーチ 中矢 健

OB 会員の役員並びに会員の皆様、現役部員の保護者の皆様、日頃のご協力、ご支援、誠にありがとうございます。

ヘッドコーチの中矢健です。

昨季は中位グループの順位決定戦にまわり 6 位という結果でシーズンを終えることになりました。決して満足のいく結果ではありませんでしたが、シーズン通じて非常に学ぶことが多いシーズンとなりました。また、卒業生はコロナ禍に入学したこともあり、苦しい時のほうが多かったにもかかわらず、一人一人がリーダーシップを発揮し、チーム、仲間のために多くの事を犠牲にしながらも 4 年間取り組んでくれました。卒業生はこの 4 年間で大きく成長したと思いますので、経験し学んだことを次の舞台で思う存分に発揮してください。4 年間ありがとうございました。そして、ご卒業おめでとうございます。

2024 年度は、「上位グループの順位決定戦に進む」ことを目標に掲げて、Skill（基本の徹底）、Physical（相手に負けないフィジカル）、Mindset（①ネガティブな発言はしない②挑戦する気持ちを持ち続ける）をチーム方針に、先ずは「目の前のことを 100%で取り組む」を徹底し、目標達成に向け、練習に励み精進してまいります。さらに、「挑戦する気持ちを持ち続ける」「仲間を信じ、自分に勝つ」ことも徹底していきたいと思います。

そして、The OSU Rugger Man（チーム文化、求める選手像）として、Respect（尊敬）・TeamFirst（チームを一番考える）・Communication（コミュニケーション）・Integrity（信用）・Discipline（規律）の 5 つの柱を軸に、プライドを創り、魅力的なチームであることを表現すると同時に応援して下さる方々への感謝を伝えるという目的ももって突き進んでいきたいと思います。

最後になりましたが、チーム理念である「人として」「大学生として」「ラグビー選手として」において、人間力を高め、成長し、さらに、社会で活躍できる人間の育成を目指し、日々努力を重ねていきたいと思いますので、大学関係者の皆様、保護者の皆様、OB の皆様、変わらぬサポート、応援を何卒宜しくお願い致します。

【 チームの規律や社会のルールを厳守 】

コーチ たしろ 田代 よしはる 義晴

いつもクラブ活動に、ご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。

今シーズン、リーグ戦は2勝5敗、6位と満足のいく結果ではありませんでしたが、選手たちにとっては学びある試合内容でした。練習でしてきた、様々な部分において、通用するところや修正が必要な課題が明確になりました。また、苦しい場面もありましたが、皆が協力しチーム一丸となり、成長した1年だったと思います。引き続き、新チームに向けて、学生達とコミュニケーションを取り合い、チームの規律や社会のルールを厳守して、上位を目指していきたいと思います。

この1年、皆様のサポートやご協力のおかげで、無事に終了する事ができた事に、心より御礼申し上げます。今後も積極的に活動を重ねてまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

【成長を目指してサポート】

コーチ きたさこ 北迫 こうじ 孝治

OBの皆様、保護者の皆様、いつも大阪産業大学ラグビー部にご支援とご声援ありがとうございます。

2023年度はBリーグ上には入れませんでしたが、学生たちのメンタルもフィジカルも昨年以上に進化したシーズンになりました。

今シーズンはBリーグ上位を目標に練習に取り組み、常に強く勝てるチームを作りたいと思います。

7月より待望の人工芝が完成予定です。雨天時やぬかるんでいる土のグラウンドではスクラム練習はできませんでしたが、人工芝に変わることで雨を気にせずに練習ができますので、スクラムを磨きあげ試合に発揮できると思います。

学生たちのさらなる成長を目指してサポートさせていただきますので、これまでと変わらないご支援とご声援を引き続きよろしくよろしくお願い致します。

【 シーズンを振り返って 】

FW コーチ いとう 伊藤 たいしん 太進

2023 年度シーズンは各校実力が拮抗した中で良い結果を出すことが難しいシーズンであり、リーグ戦での結果は1勝のみでした。しかしながら、中位グループに入り、順位決定戦でも素晴らしいラグビーを展開し、昨シーズンよりも順位を上げてくれたこと、またどの試合でも素晴らしいDFを見せてくれたことに感激しました。

卒業する4年生が素晴らしいリーダーシップでレガシー(大いなる遺産)を残してくれたので、私ももっと学びいいものをチームに伝えられるように引き続き努めます。

【 大学ラグビーの思い出 】

56期生 主将 すみがいと 角垣内 あゆむ 歩

入学してから産大ラグビー部内で問題行動やコロナによって満足に練習や試合が出来ない日々が続き、様々な理由で自分の同期生も部活をやめていく仲間が多くいました。正直なところ自分も不安な気持ちが大きく、やめることを考えていました。それでも残った仲間とラグビーを続けたいと思いとどまりました。最上学年に上がってキャプテンを任していただくことになりましたが、そこでようやくただ練習をこなしているだけでなく、もっと早くから勝ちにこだわった練習をすればよかったと思いました。最終結果としては悔しい気持ちが残りましたが、チームは向上傾向にあると思います。これからも後輩たちには頑張ってもらいたいと思います。

【 4 年間の思い出 】

56 期生 副将 だいたい ゆうと 代々 佑斗

大学 4 年間、長いようであつという間だった気がします。私達の代は新型コロナウイルスの流行により入学当初から全部員揃っての練習が難しく、緊急事態宣言の影響もあり練習が行えない期間もありました。慣れない大学生活に加えて満足のいく練習もできなかったのも、部活に対するモチベーションの保ち方が難しかったのを覚えています。

1 回生の頃からリザーブとして選んでいただき、色々な経験をすることができました。4 回生では副将として任命していただき、A リーグ昇格を目指して日々の練習に打ち込めました。結果としては B リーグ 6 位という順位で終わり目標は達成できませんでしたが、4 年間を通して有意義な部活動生活になったと思います。

4 年間、たくさんの人の支えがありここまで部活を続けてくることができました。そのことに感謝し、これからは社会人として大阪産業大学ラグビー部で学んだ事を活かしていきたいと思います。4 年間ありがとうございました。

【 大学ラグビーの思い出、感想 】

56 期生 副将 さとう けんご 佐藤 勧后

入学当初からいきなりコロナが流行ったことで入学式、授業、部活動といった大学生活を楽しみにしていたことができなくなり、友達ができるか不安でしたが部活動に入っていたおかげで初の大学の友達ことができました。部活ではコロナの影響で数少ない練習や試合の中一回生の時から試合にで出させてもらい、四回生の時には副将としてチームを支える立場になりました。当初は自分に務まるか不安でしたが、キャプテンという大きな存在がチームをまとめてくれたおかげで自分もそれに負けないように頑張ろうと思えました。チームの目標としていた A リーグ昇格、入れ替え戦には届きませんでしたが一昨年の 8 位を超え 6 位という結果で終わったことはとても良かったと思います。また必要と感じた事は鶴見緑地で行った試合形式の練習です。選手達がどういった練習やラグビーをしたいのかなどもっとチーム全体で話し合いをすべきだったと思いました。今年から社会人となりラグビーを続けるのでお互い上を目指して頑張りましょう。応援しています。

【 2024 年シーズンに向けて 】

57期生 主将 おおにし こうへい 大西 康平

今シーズンキャプテンをさせて頂く事になりました。大西康平です。
いつも大阪産業大学ラグビー部の応援や支援をして頂きありがとうございます。
僕が大阪産業大学にいたこの3年間チームとして目標にしているAリーグとの入替え戦
と昇格をまだ成し遂げてないので、この1年間チーム全員で目標にしている入れ替え戦
と昇格を成し遂げれるように一生懸命頑張ります。
これからも大阪産業大学ラグビー部の応援よろしくお願いします。